

建物や道路などは、開催時と異なる場合があります。



1. このマップを使用して歩かれる場合は自己責任でお楽しみください。
2. 交通ルールを守りましょう。
3. 神社仏閣などは、信仰の場所です。ルールを守ってご参拝ください。
4. コースは工事等で通行できない場合があります。ご注意ください。
5. 歩行喫煙やたばこのポイ捨てはやめましょう。
6. ごみ・空き缶等は各自で持ち帰りましょう。
7. お互いに迷惑になる行為は慎みましょう。



2017 年度

大阪・まち・再発見

ぶらりウォーク

2017 年
6/24
(土)



第3回

海底トンネルと道頓堀

約 11km

【コース説明】

野田阪神駅6号出口を出てすぐ、コンビニの前を西へ歩く。途中の大開公園には松下幸之助創業の地記念碑がある。そのまま西へ歩き信号を左へ曲がり南へ。信号を渡った所には松下電器第2工場跡がある。南へしばらく歩くと大阪市中央卸売市場西門前に着くので、ここから川沿いに西へ歩くと安治川トンネルに出る。安治川トンネルは、もともと源兵衛渡船があったが、交通量の増加のため隧道を造ったもので、もともとは車も通れたが、排気ガスの問題などもあり、現在は人と自転車のみ利用可能だ。トンネルを抜けると西区へ入る。目の前には商店街があるが、少し西へ迂回して九条駅前まで歩く。九条前からナインモール九条商店街を抜け津津川脇の道路を北へ向かう。川口居留地を過ぎ阿波座方面へ抜ける。

阿波座からは島津公園の横を通り、南へ向かう。土佐公園を過ぎ、阿弥陀池公園、長堀通と歩き、心斎橋から御堂筋を通り、とんぼりリバーウォークを歩く。日本橋で安井道頓・安井道トの紀功碑を見る。安井道頓は大阪城築城の功績で秀吉からこの辺りの土地を与えられ、この地の発展に水運が必要と考え、私財を投じて道トなどの親戚と相談し堀川を作り出すが、工事途中始まった大坂の陣で亡くなり、その後道トが中心となって完成させたと言われる。道頓堀の名前は、初代大阪城主松平忠明が道頓の功績をたたえて名付けたということだ。

道頓堀の繁栄は、その後道トが芝居小屋などを誘致したことから始まったと言われ、その賑いを見ながらゴールの日本橋駅に向かう。

コース

